

トラブルチェックシート

core9035/37用

お客様の装置で発生しているトラブルについて正確にお伝え頂くために、下記の該当項目をチェックし弊社営業部までFAXまたはメールしてください。

FAX:0554-45-6200

e-mail:御社営業担当まで

会社名				ご使用部署名	
ご住所					
ご担当者				メールアドレス	
TEL				F	A
装置型式		計器No		購入年月日	
ソフト Ver	コプラソフト	Ver	Rev	形状ソフト Ver	

不具合発生日時

年 月 日

不具合発生頻度

毎回 数回/日 数回/週 その他：～をすると発生する ※備考欄に詳細をご記入ください

不具合発生前の状況

設置場所を変更した 装置配線関係を変更した 外部ソフトをインストールした

どちらのソフトで不具合が発生していますか？

コプラソフト 形状ソフト

お問い合わせ内容

装置電源が入らない(メインスイッチが点灯しない)
 装置の電源は入る(メインスイッチが緑色に点灯する)が、装置が立ち上がらない
 セーフモードの画面が出る 画面に何も表示されない その他:備考欄に記入してください

画面にメッセージが出る
 No Signal が表示される OUT OF RANGEが表示される その他:備考欄に記入してください
 画面上にCPUの表示やハードディスクの表示は行われるが、その画面の途中で止まってしまう

センサモニタへメッセージが表示される
 No Signal が表示される その他

エラーメッセージが出る
 コプラモード起動時 コプラモード終了時 形状ソフト起動時 形状ソフト終了時
 原点復帰終了後にエラーがでる ソフトは起動するが軸が動作しない
 測定中装置の電源がシャットダウンしてしまう 測定中再起動してしまう その他
 実行時エラーが表示される

エラーメッセージ:

加熱測定で温度があがらない
 プロファイルの初めから温度があがらない
 温度プロファイルの途中から温度が上昇しない

測定ができない
 手動測定ができない 自動測定ができない 測定ボタンを押しても軸が動作しない
 測定しても波形がでない 測定しても波形が乱れる 加熱測定中に波形が乱れる
 測定中装置の電源が再起動してしまう 測定中装置の電源がシャットダウンしてしまう
 その他:症状をできるだけ備考欄にご記入ください

ブザーが鳴る または ブザー停止スイッチが点灯する
 装置電源を入れるとすぐに鳴る または 点灯する 測定中に鳴る または 点灯する

その他
 プリンタが使えない キーボードが使えない マウスが使えない

セルフチェックソフトの確認 ※確認用ソフトがない場合は、弊社までご連絡ください。

確認済み
 すべてOKと表示される NGが1つ以上表示される
 Temp.control unitがNGとなる LoggerがNGとなる Sensor AmpがNGとなる
 AIO AD16-16がNGとなる PCPG46がNGとなる RRY-16CがNGとなる

確認していない

備考欄(必須) トラブルの内容を具体的に記載してください。

故障かなと思ったら

◎次のような時は故障ではありませんので、原因を確かめてください。

不具合項目	考えられる原因
測定軸の動作ができない	非常停止ボタンが押されている
データがとれない	光量の設定が高すぎる
データがとれない	レーザセンサの高さが合わない
ノイズが多くて測定できない	基準ガラスに汚れ(傷)がる
ノイズが多くて測定できない	光量の設定が低すぎる

エラーについて

◎本装置には、下記のようなエラー表示、または警告が表示されます。

エラー表示	原因と対応
加熱炉が開いています。扉を閉めて再スタートしてください。	装置加熱炉の扉が開いていますので、扉を閉め、[Start]ボタンを押して測定を開始してください。
非常停止スイッチが押されているか電源が入っていません。	[非常停止]ボタンを解除し、電源が入っているか確認後[Start]ボタンを押して測定を開始してください。
Air Error(エアエラー)	エアの圧力が低下していますので、エアの圧力と供給の確認をください。本装置の供給圧力設定は約0.55Mpaです。エアが供給されていない場合や、加熱測定中にエア圧力が低下した場合などに発生することがあります。 確認後メッセージのOKを押して測定スタートしてください。
ヒータ温度表示・ブザー警告	ヒータは600度以上になると警報ブザーが動作します。ヒータ温度の異常加熱です。表示部上部のブザー停止スイッチを押してブザーを停止してください。 ヒータ温度が低下するまで、装置の運転を停止してください。装置の電源を切ってください。温度が低下しましたら、装置の電源を再投入して測定を開始します。
センサ温度表示・ブザー警告	センサは30度以上になると警報ブザーが動作します。測定センサの異常加熱です。表示部上部のブザー停止スイッチを押してブザーを停止してください。センサ温度が低下するまで、装置の運転を停止してください。装置の電源を切ってください。また、装置左右に付いています、冷却ファンのフィルタ目詰まりの可能性がありますので、フィルタの清掃をください。温度低下およびフィルタ清掃後装置の電源を再投入して、測定を開始します。
温調器停止表示	測定動作中(加熱が終了するまで)に装置に適正な圧力のエアが供給されていない場合「温調器停止」の表示がでます。また、温度プロファイルの温度上昇能力2°C/sec、下降能力0.5°C/secを超えた設定をし、測定不能点が発生すると、「温調器停止」が出る原因となります。 エラーがでた場合は、表示のOKを押してエア供給されていることを確認し再度装置を立ち上げ直してください。
Aioオープンエラー	設定値が規則違反の設定となっています。弊社までお問い合わせください。